

IRIE

社内報いりえ
Vol.516
2023
9・10月号



本社 大嶋さん

光支店 黒田さん



大分支店 栗田さん

大分支店 江口さん

大分支店 前原さん

2023年 会社スローガン 漸進

【会社方針】
新生アステック入江
基盤づくりの推進

多 言 有 用

10月3日にノーベル物理学賞が発表された。超短時間幅のパルス光を作る技術らしい。何の役に立つのだろうか？ミクロ&高速な事象の観測方法は、パルス光を当てその反射を捕らえるやり方が一般的だ。現在まで最も短かったパルス光幅はフェムト秒：10のマイナス15乗である。ミリ（10³）、マイクロ（10⁶）、ナノ（10⁹）、ピコ（10¹²）と並び、ピコのさらに1/10000がフェムト。日々の暮らしからかけ離れて想像もつかないが、この技術が0.1ミクロンすなわちウイルスやDNAの世界を可視化してきた。今般、それがさらなる進化を遂げた訳だ。パルス光幅はアト秒（10⁻¹⁸）。0.1ナノmの微細構造や、超高速で飛び回っている電子挙動など、分子科学の領域へ文字通り「光を当てる」技術となっている。分子世界の電子挙動は、反応メカニズムと密接に繋がっている。今後この技術が、化学だけでなく、医療・エレクトロニクス等も含めて連鎖的にイノベーションを引き起こす期待が膨らむ。

一方、目に見える世の中でも、何が起ころか判らない。野球、サッカー、バスケ、ラグビー、陸上……。夢を実現する人たちの活躍に心を躍らせ、眠い目をこすって深夜未明に応援することも、何かを感じてジョギングを始めることも大いに楽しむ。しばらくしてジョギングを止めてもそれもまた良い。達成感、こだわり、残念感、何でもいから日々を楽しく過ごしたい。

(K・Y)

新生

【第五回】技術統括

この企画ではテーマや分野別に、「新生アステック入江」において課題解決や成長に向けて推進していく活動計画等について掲載します。第五回は技術統括について取り上げます。



上席執行役員
技術統括部長
秦 吉範

1. 始めに

2023年4月1日に、本社技術部を「技術統括部」に名称変更し、(1)企画グループ (2)開発グループ (3)品質管理グループに機能を分割し運営する体制に改めました。

企業にとっての第一の責務は「存続すること」であり、存続し続けるための礎となるものが、一昔前までは「ヒト・モノ・カネ」でした。しかし、現在では、それら3つの経営資源に「情報」を加えた4つを主要な経営資源として考えるようになり、弊社においてはやや遅れ気味ではありますが、企業が所有している情報（著作権、特許、技術、ノウハウや品質データなどの無形財産）を今後は「技術統括部」において有効活用して参ります。

2. 新たな取り組みについて

一般的に、企業には大きく分けて「生産部門（直接部門）」と「スタッフ部門（間接部門）」があります。生産部門は、製造、開発、営業といった企業の売り上げに直接影響を与える部門のことを言い、スタッフ部門は、その生産部門が長期的かつ安定的に生産活動を行えるよう会社の売りに間接的に影響を与える部

門を言います。さらに分かりやすく例えるならば、大谷翔平選手と水原一平通訳の関係や多くの人が教育課程の中で経験した部活動をイメージしていただくと良いかと思えます。

その生産部門の一躍を担う「技術統括部」における改善項目は、「コスト改善・作業そのものとの環境の改善・安全性や能率の向上・自動化」など、テーマは多岐にわたります。生産現場においては、現場主導のQCやJKといった「改善活動」が継続して行われ実益を生んでいます。近年、技術系総合職主導による改善活動は停滞気味であるように感じています。改善活動の停滞の要因の1つは、人材需給バランスの不均衡問題にあると考えています。

3. 人材需給バランスの不均衡問題について

これまで鉄鋼3支店は、それぞれに技術部隊を配備し社内外の要請に対応して参りました。30年前からは環境リサイクル分野での研究開発にも注力し、開発当初から技術面で参画していた塩化鉄液リサイクル事業については、1994年に新日本製鐵殿（現日本製鐵殿）より移管され、当社の環境ビジネスのモデルとなりました。また、堺市で操業を始めたセラミックス精密機械加工事業は、近年の半導体製造装置の需要を反映し、2020年に北九州市若松区に響工場を増設し、AIや自動化の波を取り込むこととしております。しかし、専属の技術スタッフを定期的採用しなかったこともあり、特に堺工場においては年齢構成が極端に二分化し、伝承すべき技術が受け継がれず、ある種、

匠の技に頼らざるを得ない現況となっております。

会社存続のために、将来にバトンを渡し続けるという大義を考えると、会社としては大いに反省しなければならぬところでもあり、まさにこれこそが技術統括部に課せられた使命だと感じています。

4. 技術統括部の役割

課題認識を整理し再編した「技術統括部」においての役割は、「開発・改善・品質・知的所権」などの情報資源を活かし、会社存続に寄与することです。そのために、「技術系総合職の「一括管理」と銘打って、次のような取り組みを鋭意実行して参ります。

〈今後の取り組み概要〉

- ・各事業所における技術スタッフ定員の明確化と適正配置
- ・各事業所における技術系総合職による生産技術活動推進のサポート
- ・セラミックス精密機械加工の自動化推進のサポート
- ・技術スタッフのキャリアパス計画の企画と人事部門との協調による実行
- ・技術スタッフの教育計画の策定と実行
- ・将来の幹部候補の選出と育成支援

以上、これらの活動を日々の業務の中で行われる永続的なプロセスとして取り組んで参りたいと思っております。

かき氷で夏を乗り切る

FM事業部 納涼祭開催

ご安全に！
FM事業部では夏季特別活動の目標として熱中症「0」を掲げ、活動に取り組みました。今年の夏は、最高気温が35度以上の猛暑日が続き、作業者の皆さんのクーラダウンを目的として、納涼祭（8月16日～9月30日の毎週水曜日実施）を開催しました。

熱中症の予防で欠かせないのは、こまめな水分補給と塩分補給です。0.1から0.2パーセントの塩分と程よい甘さを含むかき氷は、体に吸収されやすく、汗で塩分を放出しバランスが崩れた私たちの体を整えてくれる優れた涼菓ということもあり、各工場にかき氷パーを設置しました。響工場においてはセラミックス事業所と合同で開催しました。納涼祭を通し部門を超えて対話することができ、協力会社を含め、たくさんの方に涼と笑顔を提供できました。



広畑工場

八幡工場

響工場・事務所

6Sは小さい努力の積み重ねから

八幡支店 八協会総会 6S活動表彰

7月14日（金）、八協会総会にて、八幡支店 連鑄課の6S活動が表彰されました。連鑄課の職場は、溶銑・溶鋼の耐火物整備作業、TDの耐火物整備作業、連続鑄造の準備作業、そして鑄造片内質判定（IBE）作業と4つの系列があります。特に耐火物を取り扱う鍋整備、TD整備では、耐火物粉塵が課題となっています。6Sを頑張っても業務の特性上、すぐに汚れるため、色々な環境改善や設備対策を行っているところですが、日々の一仕事一片付け、空いた時間を有効利用しての6Sを皆でやるのが一番の有効な手段だと気付きました。

現場の綺麗さは、小さい努力の積み重ねと持続する皆の意識の表れだと思います。目についたゴミを拾い、道具を片付け、溜まった粉塵を清掃する。当たり前のように思いますが、この当たり前を継続し習慣化するのには、なかなかできるものではありません。組織として、これらを遵守して習慣化できるよう、これからも職場の環境改善を進め、将来は小さい努力の積み重ねで、時間や手間を省いた6S対応ができる現場造りを目指します。



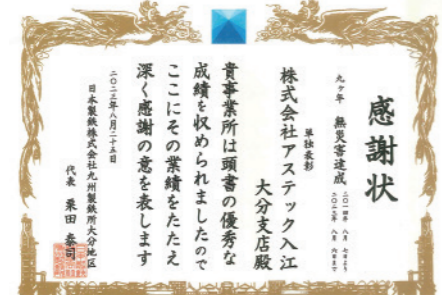
日々の努力で綺麗に保たれた連鑄課の職場

無災害継続の思いを新たに

大分支店 9力年無災害達成表彰式

8月25日（金）、大分地区の栗田副所長より「9力年無災害達成（2014年8月6日に発生した休業災害）」の感謝状をいただきました。当日は副所長と司会の麻生安全健康室長が支店会議室にお越しになり、大分支店を代表して、安藤副原料係長に感謝状が授与されました。また今回からは、2次協力会社の方々にも感謝状を用意していただき、協力企業を代表して、堤内組の堤内社長に感謝状が授与されました。

お盆が過ぎた8月末とはいえ、暑い時期・夏季ゼロ口炎活動も終盤を迎え酷暑が続いている、最後まで気を抜かず自ら決めた弱点克服活動を完遂してもらいたい。「このお言葉をいただきました。最後に副原料係A組の池永峻真さんが力強いゼロ口三唱で締めると、副所長から「非常に良いゼロ口唱だった」とお褒めの言葉を頂き、参加者全員無災害継続の思いを新たにしました。



安藤係長に感謝状が授与されました

（房前）



（堺工場）スギノマシン

ご安全に！
セラミックス事業所堺工場では、8月にマシニングセンタを老朽更新で導入致しました。更新前のマシンは2005年に導入し、主に住友電気工業様向けの量産品の加工を行っていました。今回導入した同型式の新型スギノマシンは、現在フル稼働で生産を行っています。
また、響工場でも8月に京セラ様向けの量産品加工や新たな種類の量産を行うべく、大型のマシニングセンタを2台導



（響工場）大型マシニングセンタ



藤高支店長から表彰を受ける渡邊さん

お孫さんと一緒に作った作品、お子さんが初めて作った作品、初挑戦の工夫を凝らした作品など、ご家族でモノづくりを挑戦し、皆さんそれぞれに思いの詰まった作品が集まりました。
支店にて展示し、全社員での人気投票を実施しました。甲乙つけがたく、選出に悩まれた方も多かったようです。
結果は、M1エイブラムスを製作した渡邊さんが優勝、準優勝にユニコーンガンダム製作の井上さん、3位にストライクフリーダムガンダム製作の財間さんが入賞しました。支店長から表彰を受け、



多くの力作が揃いました

たくさんの応募がありとうございりました



記念すべき第一回の優勝作品！

大盛況のうちに終わることができました。コンテストを終えて、「次回は？」との声も多く聞かれました。来年の開催も計画していきます。
次回も気合の入った作品が集まりそうです！
（藤村）

光支店 プラモデルコンテスト開催 たくさんの力作が集まりました！

セラミックス事業所 マシニングセンタ等新規導入 新しい機械で売り上げに貢献

入致しました。うち1台は、お客様の最新のニーズにお応えするため、自動運転の取り組みをお客様と共同で行っています。この取り組みが成功すれば、ノウハウや技術に頼らなくてもマシニングセンタを動かせるようになる未来も近いかもしれません。これらの新しい機械を活用し、売り上げに貢献できるように努めて参りますので、よろしく願います。
（松井）

大分支店 第92回大協会JK発表大会 佐藤秀磨さん初めてでも堂々と

8月18日（金）、第92回大協会JK発表大会がコミュニケーションセンターで開催されました。大分支店からは、副原料係の佐藤秀磨さんが「副原料工場デジタル化による職場改善」について発表しました。当日は7件の発表が予定されていましたが、発表順番はクジ引きで決定され、佐藤さんはなんと1番目の発表になりました。佐藤さんは入社3年目にして初めての社外発表、それもトップバッターで緊張の度合いも、いかばかりであったかと思えます。しかし、グループの活動内容を堂々と、かつ丁寧に発表し、大会賞こそ逃したものの、安全・能率・コスト・環境・人材育成の各要素が包括された活動報告（マイクロ波式レベル計の導入と監視カメラの更新）は、新生アステック入江「基盤づくりの推進」に貢献した発表だったと感じました。
（房前）



素晴らしい発表をした佐藤さん

F M 事業部 北九州市エコタウンセンター夏休みイベント 都市鉱山に興味津々！

7月25日（火）、北九州市エコタウンセンター主催の「夏休み親子探検ツアー」が開催されました。探検ツアーのプログラムの1つとして、FM事業部響工場にてイベントを実施しました。
イベントには親子合わせて21名の方が参加されました。まず「金メダルと都市鉱山」をテーマに、子供たちに身近なゲーム機に関連させた金や都市鉱山の話、そして弊社の都市鉱山リサイクルについて講義を行いました。さらにリサイクルに関する化学実験や都市鉱山工場の見学の後には金メダルなどの展示物を見て触っていただきました。イベント中、子供たちから何度も歓声が上がリ、質問も積極的に飛び出すなど非常に賑やかなイベントとなりました。
イベントを通じて、金にも負けない子供たちのキラキラした瞳に出会うことができ、私たちも元気づけられる充実した一日となりました。
（砂川）



砂川さん(右)の説明に聞き入る子供たち

八幡支店 折尾高校1年生職場見学 鉄づくりの魅力伝える

8月3日（木）、福岡県立折尾高等学校1年生40名が八幡支店の見学に訪れました。生徒の皆さんは普段目にするのではない製鉄所の建屋や設備のスケールに興味津々の様子で、製鋼工場や鍋センターの現場見学では梶原支店長代理の説明を熱心に聞き入っていました。また、同行した若手スタッフから生徒の皆さんへ就職活動の体験談やアドバイスも行いました。当日は猛暑日となり、見学も午後2〜3時と1日のうちで最も暑くなる時間帯に行われたため、熱中症のリスクが高まる中での実施となりましたが、水分・塩分補給と休憩をしっかりと行い、無事に見学を終えることができました。



説明を熱心に聞く生徒の皆さん

今回の工場見学を通して、生徒の皆さんが少しでも鉄づくりの仕事に興味を持っていただき、将来はアステック入江の仲間として切磋琢磨できる日が来れば幸いです。
（大西）

八幡チームが躍動!

本社・八幡支店 第10回ふれあいフットサル大会

9月30日(土)、本城運動場にて行われた第10回ギラヴァンツ北九州応援ふれあいフットサル大会に、本社と八幡支店から2チームが参加しました。本社チームは初戦に見事勝利したものの、応援団が見守った2、3戦目は疲れたのか(はたまた応援団の視線に緊張したのか)動きに精彩を欠き、結局1勝2敗で終了。一方の八幡チームはチームワーク抜群なプレーでゴールを量産。3戦目こそ本格的な相手チームに敗れたものの2勝1敗の



楽しい大会になりました

好成績を収めました。試合終了後は組合から用意されたおいしい弁当に舌鼓を打ちました。9月末とは思えない暑さの中でしたが参加者全員、熱中症になることなく無事終了。昨年に続き和気あいあいとした楽しい大会になりました。

(坂口)



本社・田口さん(左)のドリブル



ゴールを決め笑顔の八幡・塚崎さん(右)と仲間たち



見守る応援団の皆さん



SDGs推進プロジェクト

vol.10

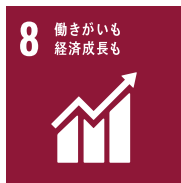
わたしたちのSDGs



各事業部の活動紹介 ⑥本社

当社におけるSDGs活動について各事業部より報告しております。今回は本社における取り組み計画を紹介いたします。

本社 誰もが働きやすい職場を目指して



2023年3月、本社3階男性トイレを改装しバリアフリートイレを設置しました。

もともと2つあった個室を1つにし、入口や空間を広くすることで、誰もが使いやすいトイレになっております。

また、3階執務室のレイアウト見直しを行い、机と机の間隔を広くしました。通路を広げることが高齢者、障がい者や子育て世代など、すべての人々が安心して移動できる環境を実現することができました。

私たちが普段気にも留めない小さな段差や扉の開け閉めなども、身体の不自由な方が生活する上では大きな負担になります。そうした視点で職場全体を見ることができ、より充実した職場環境に変えていくことができます。私たちが目指すこれからのカタチは、ユニバーサルデザインです。すべての人が働きやすい職場を目指して活動を推進していきます。

(平田)

◆用語解説

バリアフリートイレ

その人の持つ特性や性別、年齢などにかかわらず、あらゆる人が気兼ねなく利用できるように設計されたトイレのこと

ユニバーサルデザイン

すべての人々が利用しやすい製品、サービス、空間のデザインのこと

当社には日本製鉄様や同社関連会社のスポーツチームに所属し、日々の業務に勤しみながら練習を重ねてプレーする社員の方々がいます。そんなアスリートの皆さんが今秋、公式戦に挑みましたのでその様子を紹介します。

日鉄ステンレス硬式野球部 所属

黒田直樹選手 (光支店)

くろだ なおき
右投左打・一塁手

日鉄ステンレス硬式野球部は9月15日(金)から第48回社会人野球日本選手権大会中国地区最終予選に出場しました。光支店安全環境防災グループ所属の黒田選手は5番ファーストで出場しました。予選リーグを2位で通過し、代表決定トーナメントに進出。第2代表決定戦では中国地区の強豪JR西日本と対戦しました。黒田選手は攻守において大活躍。チームは延長10回タイブレークの末、6-3で破り、28大会30年ぶり7回目の本大会出場を勝ち取りました。11月8日(水)から開かれる本大会に中国地区第2代表として出場します。本大会では日頃の練習の成果を十二分に発揮し、大阪の地で大暴れる事を期待します。(河内山)

Fight! 入江のアスリート!

イリエスポーツ

祝 第48回社会人野球日本選手権大会 本戦出場決定!!



歓喜の瞬間をかみしめる黒田選手(中央)



第2代表決定戦で大活躍をみせました



日本選手権の本大会は京セラドーム大阪で開催されます。日鉄ステンレスは12日(日)18時からHonda(埼玉)県と対戦。本選の様子は新年号にて!



予選序盤は結果が出ず悔しかったですが、会社の方が最後まで声援をくれたおかげで代表決定戦では結果を残すことができた。周りの方への感謝を忘れず戦います。

Q: 社会人野球日本選手権予選を終えて

日本製鉄九州大分硬式野球部 所属

栗田康介選手 (大分支店)

くりた こうすけ
右投右打・外野手

2023年9月20日(水)から5日間、北九州市民球場をメイン会場に「第48回社会人野球日本選手権大会九州地区最終予選」が開催されました。日本製鉄九州大分硬式野球部は、超戦々スロウボールをスローガンに、9月21日、沖縄電力と対戦しました。前半は先発ピッチャーの好投で沖縄電力の打線を抑えていましたが、終盤は徐々にリードを広げられ、0-6で敗れ大会を終えることになりました。この試合での栗田選手の出場機会はありませんでしたが、献身的なサポーターでチームに貢献することができました。これからも「仕事」と「野球」の二刀流での活躍を大いに期待しています。(森山)



栗田選手 (9月21日・沖縄電力戦)



今回の社会人野球日本選手権予選では、初戦で負けてしまいました。この悔しさを糧に九州代表になれるように頑張りたいと思います。

Q: 社会人野球日本選手権予選を終えて

日本製鉄八幡ラグビー部 所属

大嶋凜太郎選手 (本社)

おおしま りんたろう
《ポジション》ロック (L0)

日本製鉄八幡ラグビー部は今年もトップキウシュウリーグの戦いに挑んでいます。チームは10月29日(日)の第5戦終了時点で3勝2敗という成績を収め、リーグ戦を2位で終了。11月から始まる順位決定戦に臨みます。総務グループ所属の大嶋凜太郎選手もレギュラーとして活躍。中でも9月23日(土)に長崎で行われた三菱重工長崎戦では終始キレのある動きを披露。ノーサイド間際にはトライを決めるなど大活躍をみせました。本人も試合直後には「久々にトライを決められたので嬉しかった」と白い歯を見せていました。順位決定戦でもチームおよび大嶋選手の応援をお願い致します。(坂口)

Q: リーグ戦について



昨年はリーグ優勝できず、悔しい思いをしました。今年こそ優勝し、いつもサポートして頂いている皆様への恩返しをします。ご声援の程、よろしくお願ひ致します。



多くの仲間が試合に駆け付けました (10月15日 安川電機戦)



大嶋選手(9月23日・三菱重工長崎戦)

大分ラグビーフットボールクラブ 所属

江口諒選手 (大分支店)

えぐち まこと
《ポジション》プロップ (PR)
フッカー (HO)

前原豊礼選手 (大分支店)

まえはら とらい
《ポジション》プロップ (PR)
フッカー (HO)

大分ラグビーフットボールクラブ(日本製鉄大分ラグビー部)が今年設立、九州トップリーグ予選リーグの試合を戦っています。第1戦では、34-37と接戦を制し、現在勢いに乗っているところで、6月にも別府市にて行われたJALラグビーフェスティバルで3チームによるリーグ戦を1勝1敗と健闘しています。大分支店からは江口・前原の両名がFWのレギュラーとして参加。トライを決めるなど活躍しておりました。小さい頃からラグビーを愛してやまないこの両名に今後の期待とエールを送っていきます。(加藤)

Q: リーグ戦について



果敢にボールに絡む前原選手(右から2人目)



江口選手
今大会では、チーム全体の士気も高く、激しい試合が予想されます。前回大会の雪辱を果たすために、チーム一丸となって頑張っていきます。



前原選手
日頃から支えて下さる会社の方々やラグビーができる環境に感謝して、公式戦では全力でチームに貢献していきます。

Fight!!

